

自然教育園のトンボ相

清 拓哉*

国立科学博物館動物研究部

Takuya Kiyoshi: Odonata fauna of the Institute for Nature Study. Miscellaneous Reports of the Institute for Nature Study (51): 109–111, 2019.

Department of Zoology, National Museum of Nature and Science

はじめに

自然教育園のトンボ相については長きにわたり調査・報告が行われてきた（文部省国立自然教育園, 1952; 頼, 1975, 1976, 1978, 1981, 1986; 久居, 1998, 1999, 2004, 2005, 2007, 2008, 2009, 2010; 須田, 2002, 2013）。これまでに報告されているトンボ類は合わせて9科44種となっており, 1998年から2010年の間にかざれば7科32種が記録されている（須田, 2013）。須田（2013）の指摘する通り, これらの数字には園内ではすでに絶滅してしまったと考えられるものや, 一時的な飛来と考えられる種が含まれているものの, 東京都の都心に位置する緑地としてはトンボ類の種の多様性が豊かである。

トンボ目の幼虫（ヤゴ）は一般的に陸水環境に生育する。陸水環境を止水性と流水性に便宜上区別するとするならば, 自然教育園のトンボ相の特徴として止水性の環境に生息する種が大半をしめることが挙げられる。過去にはアオハダトンボやヤマサナエ等, 流水性の環境にすむ種が記録されているが, 現在確実に園内で繁殖している流水性の種はオニヤンマのみであると考えられる。

本研究では, 自然教育園内で実際に捕獲調査を行い, 現在の園内のトンボ相とこれまでに記録されている種との比較を行うことを目的とする。

方 法

自然教育園内での捕虫網を用いた見つけ採りによってトンボ類成虫の採集調査を行った。調査は2017年5月16日, 6月9日, 6月22日, 7月20日, 9月28日, 10月12日, 2018年6月19日, 7月13日, 9月6日, 10月18日の計10日間行った。各種個体群の保全上の観点から採集数を抑制した。

結 果

採集されたトンボ類

アオイトトンボ科 Lestidae

1. オオアオイトトンボ *Lestes temporalis*

1 ♀, 2017年9月28日, 武蔵野植物園

イトトンボ科 Coenagrionidae

2. キイトトンボ *Ceriagrion melanurum*

1 ♂, 2018年9月6日, 武蔵野植物園内

3. クロイトトンボ *Paracercion calamorum*

1 ♂ 1 ♀, 2017年5月16日, 水生植物園

4. アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis*

1 ♂, 2018年9月6日, 水生植物園

* E-mail: kiyoshi@kahaku.go.jp

5. アジアイトトンボ *Ischnura asiatica*
1 ♂, 2018年7月13日, 水生植物園

ヤンマ科 Aeshnidae

6. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini*
1 ♂, 2017年7月20日, 水生植物園

7. ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera*
2 ♂, 2017年6月22日, 水生植物園

8. ギンヤンマ *Anax parthenope*
1 ♂, 2017年6月9日, 水生植物園; 1 ♂, 2017年7月20日, 水生植物園

9. クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus*
1 ♂, 2017年6月9日, 水生植物園; 1 ♂, 2017年6月22日, 水生植物園

オニヤンマ科 Cordulegastridae

10. オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*
2 ♂ 1 ♀, 2017年7月20日, 水生植物園

夏場に水生植物園の上空を盛んに飛び回っているのが観察できた。また、成熟成虫がサンショウウオ沢の細流上を低空飛行していた。

ヤマトンボ科 Macromiidae

11. オオヤマトンボ *Epopthalmia elegans*
1 ♂, 2017年7月20日, 水生植物園
おそらく遇産種と考えられる。

トンボ科 Libellulidae

12. チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa*
1 ♂, 2017年6月9日, 水生植物園

13. ナツアカネ *Sympetrum darwinianum*
1 ♂, 2018年7月13日, 水生植物園

14. リスアカネ *Sympetrum risi*
1 ♂, 2018年7月13日, 水生植物園

15. ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum*
1 ♂, 2018年10月18日, 水生植物園

16. アキアカネ *Sympetrum frequens*
1 ♂, 2017年6月22日, 水生植物園

17. コノシメトンボ *Sympetrum baccha*
1 ♂, 2018年10月18日, 水生植物園

18. コシアキトンボ *Pseudothemis zonata*
1 ♀, 2017年7月20日, 水生植物園

19. ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia*
1 ♂, 2017年6月22日, 水生植物園

20. ウスバキトンボ *Pantala flavescens*
1 ♀, 2017年7月20日, 水生植物園

21. シオカラトンボ *Orthetrum albistylum*
1 ♂, 2017年6月9日, 水生植物園

22. オオシオカラトンボ *Orthetrum melania*
2 ♂, 2017年6月9日, 水生植物園

考 察

今回の2017年から2018年の2年間の調査において捕獲されたトンボ類はすべて、須田(2013)においてまとめられた1998年から2010年にかけて自然教育園から記録されたトンボの種のリスト中に含まれている。逆に今回の調査では同リストの種のうち10種が確認されなかった。遇産種と考えられるものを除くと、ホソミオツネントンボ、アオイトトンボ、ベニイトトンボ、アオヤンマなどは今回の調査では採集されなかったものの、園職員や来園者の目撃談や撮影写真等を考慮に入れると、園内に定着している可能性が高い。今回の調査では捕獲されなかった種がいくつかあるものの、1998年から2010年にかけてのトンボ類の記録と比較して自然教育園のトンボ相に関しては大きな違いは生じてはいないのはいかと考えられる。

引用文献

- 久居宣夫. 1998. 自然教育園の動物目録の追録と稀種動物の目撃記録 (10). 自然教育園報告, (29) : 13-18.
- 久居宣夫. 1999. 自然教育園の動物目録の追録と稀種動物の目撃記録 (11). 自然教育園報告, (30) : 17-24.
- 久居宣夫. 2004. 自然教育園の動物目録の追録と稀種動物の目撃記録 (14). 自然教育園報告, (35) : 1-13.
- 久居宣夫. 2005. 自然教育園の動物目録の追録と稀種動物の目撃記録 (15). 自然教育園報告, (36) : 1-29.
- 久居宣夫. 2007. 自然教育園の動物目録の追録と稀種動物の目撃記録 (17). 自然教育園報告, (38) : 1-18.
- 久居宣夫. 2008. 自然教育園の動物目録の追録と稀種動物の目撃記録 (18). 自然教育園報告, (39) : 47-61.
- 久居宣夫. 2009. 自然教育園の動物目録の追録と稀種動物の目撃記録 (19). 自然教育園報告, (40) : 47-57.
- 久居宣夫. 2010. 自然教育園の動物目録の追録と稀種動物の目撃記録 (20). 自然教育園報告, (41) : 11-34.
- 文部省国立自然教育園. 1952. 蜻蛉目. 国立自然教育園動物目録第1集昆虫綱. 国立自然教育園基礎資料, (1) : 3-4.
- 頼 惟勤. 1975. 自然教育園の蜻蛉. TOMBO, XVIII (1-4) : 23-25.
- 頼 惟勤. 1976. 自然教育園の蜻蛉. 訂正と追捕. TOMBO, XIX (1-4) : 24.
- 頼 惟勤. 1978. 自然教育園の蜻蛉の目撃記録. 自然教育園報告, (8) : 60-71.
- 頼 惟勤. 1981. 自然教育園の蜻蛉の目撃記録 (続報). 自然教育園報告, (12) : 27-29.
- 頼 惟勤. 1986. 自然教育園の蜻蛉成虫観察報告 (1985年度) 特にホソミオツネントンボの行動. TOMBO, XXIX (3-4) : 107-110.
- 須田真一. 2002. 自然教育園のトンボ類. 自然教育園報告, (34) : 107-130.
- 須田真一. 2013. 自然教育園のトンボ類. 濱尾章二・松浦啓一 (編), 大都会に息づく照葉樹の森. 国立科学博物館叢書, (14) : 76-80.